

通し番号の記号		総計201004							
B 女性医師の医師としての研鑽希望	11) 医師としての夢	1 総合病	25	<b>女性医師の医師としての夢</b> <p>総合病院の各科で手術、治療のエキスパートとなる。20%</p> <p>大学病院に残り、病の専門家となる。6%</p> <p>地域医療に従事し、患者家族をふくめて慕われる開業医となる。14%</p> <p>小児科・産婦人科・僻地医療など社会から求められる分野に従事する。16%</p> <p>当直・時間外対応をしないで済むような科・所属先を選ぶ。9%</p> <p>ある年齢までは当直・時間外対応をして、要請に答えたい。33%</p> <p>その他 2%</p>					
		2 大学病	8						
		3 地域医	18						
		4 小児科	20						
		5 ある年	42						
		6 当直・時	12						
		7 その他	3						
	12) 出産育児がデメリットとなると	1 出産育	72	<b>出産育児が研鑽のデメリットとなる場面</b> <p>指導医のいるような総合病院に復帰できにくくなる。20%</p> <p>受持患者急変時に時間外対応できないと、経験をつめない。16%</p> <p>休日の子供の為に使うと、学会出張に出かけにくくなる。13%</p> <p>研究・キャリア形成に支障 15%</p> <p>出産育児のため休業すると、同僚に迷惑をかける。35%</p> <p>その他 1%</p>					
		2 研究・キ	31						
		3 休日を受	27						
		4 持指導医	32						
		5 その	40						
		6 その他	2						
	13) 出産後も医師としての研	1 十分な	32	<b>保育支援と研鑽継続について</b> <p>そのような犠牲を払ってまで、期待に答えるつもりは無い。14%</p> <p>サポートがあっても、出産後数年は当直免除等、労務軽減をして欲しい。36%</p> <p>十分なサポートがあれば、研修病院で研鑽をつみたい。36%</p> <p>その他 1%</p>					
		2 サポート	44						
		3 そのような	13						
		4 その他	1						
			0						

外	1	24時間の託児	46	<p>祖父母が居ない場合、必要な保育支援</p> <p>勤務先での一時預かり: 子連れで出勤したら、勤務先でシッターが一時預かってくれ、場合によっては寝させてくれる。 47%</p> <p>24時間の託児所 26%</p> <p>病児・病後児託児所 27%</p>
	2	病児・病後児	48	
	3	勤務先での	83	
			0	
自宅で保育してくれるシッター	1	研究会や勤務終了	35	<p>自宅保育シッターが必要な場合</p> <p>研究会や学会出席時 15%</p> <p>勤務終了が遅くなる ときの夜間 30%</p> <p>保育園・幼稚園・学童保育から自宅までの送迎 10%</p> <p>勤務先からの呼び出しがあったとき 21%</p> <p>子供が病気のとき、幼稚園等から自宅へ連れ帰り、自宅で子供とともに待機</p>
	2	保育終了	72	
	3	保育園・幼	24	
	4	勤務先か子供が病	51	
	5	子供が病	57	
			0	
以外	1	保育だけでなく、	28	<p>託児・シッター以外に必要な支援</p> <p>信頼できるベビーシッターや託児所の紹介 68%</p> <p>保育だけでなく、掃除・炊事・選択等の家事代行 32%</p>
	2	信頼できるベビーシッターや託児所の紹介	60	

15) 職場復帰のプラン	1	育児休暇	10	<p>結婚出産後の職場復帰プラン</p> <p>出産後は、医師として復帰するつもりはない。0% 出産を機会に一時休業し、何年か育児に専念したい。11% もともと、当直・時間外勤務をしないですむ科を選んだ(選ぶ予定)。2% 今の所、育児に関するプランはなく、仕事を続ける。19% 育児休暇は利用せず、育児支援サービスを利用し復帰。8% 祖父母の助力が仰げるので、育児休暇は利用せず復帰。7% 育児休暇取得後、育児支援サービスを利用して復帰。21% 当直時間外免除の労務軽減してもらえば、勤務を続けたい。32%</p>
	2	祖父母	9	
	3	育児休暇	26	
	4	出産をと	37	
	5	もと	3	
	6	と出産を	13	
	7	出産後今	0	
	8	の所、	23	
16) 育児支援事業の利用		利用する	28	<p>医師会の保育支援事業:利用する？</p> <p>利用しない 30% 利用する 70%</p>
		利用しない	12	
愛称募				